



# 心のつながりを大切に 地域に根差したギフトショップを目指して

株式会社 はらしん

代表取締役 原田 光浩さん

インターネットの発達により、家に居ながらクリック一つで欲しいモノが手に入る時代になりましたが、原田光浩さんは昔ながらの営業スタイルの進物店「はらしん」を2022年6月、周南市にオープンしました。お客様の下(もと)に直接足を運んで注文を受け、お届けするという、外商を中心とした店舗です。人とのつながりを大事にするギフトショップとして、地域に密着した店舗に成長させていくことを目指しています。



## 新会社設立と 事業継承の決断

「はらしん」は、元々、原田さんの曾祖父が明治35年に下松市で創業した「原田タオル株式会社」が運営する、老舗進物店でした。しかし、インターネットの発達とコロナ禍という世相も相まって販売不振に陥り、創業以降下松市・周南市で展開してきた店舗を閉店、更に経営者の高齢化も重なり、廃業の可能性が浮上りました。



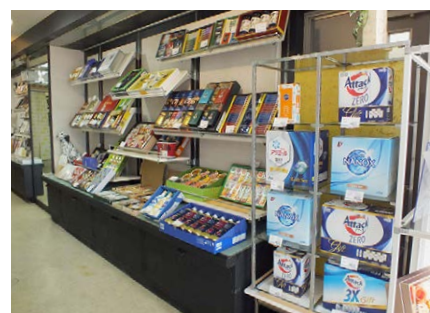
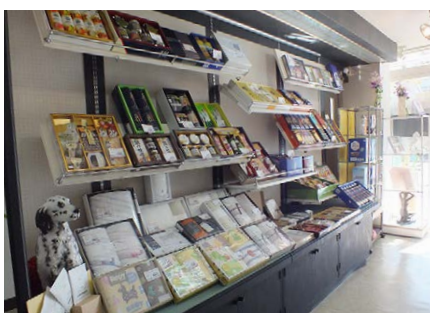
そこで長年「はらしん」の営業に携わってきた原田さんは、一念発起。販売不振とはいえ既存の取引先が約100社もあるので、経営方法によっては今後の収益が見込めると判断し、自分が新会社を設立して、代々続いてきた事業を守り継承することを決めました。

「原田タオル株式会社」の顧客を引き継ぎ、同業他社に比べて優位性がある情報量と信用度を今後も保持発展させていく。余分な在庫を置かず固定費を抑え、外商中心の商売をする。営業マンとして培ったノウハウを生かし、足を運ぶことを厭わずお客様の心に寄り添い、既存顧客と高齢者を中心に、きめ細かいサービスを提供していく、という経営方法を考えるの決断です。

それまでは営業一筋で、経営者としての経験も知識もなかった原田さんは、新会社の設立に向けて動き始めました。

## 周南市 創業支援事業と 山口県 信用保証協会

原田さんは会社設立に向けて資金調達の準備のために、まず西京銀行に行き、融資の申し込みをしましたが、すぐに自分の甘さに気づきました。融資を受けるには創業計画を始め多くの書類が必要で、審査があることも知らなかった原田さんは、申し込んだらすぐに融資をしてもらえんと思っていました。そんな原田さんに、西京銀行は周南市創業支援事業を紹介してくれました。





しかし、具体的にどうすれば良いのかわからず、市役所の窓口に行くと、まずは徳山商工会議所に相談してみることを勧められました。

商工会議所の親身な対応により、自分より若い商工会議所の職員からマンツーマンで創業に関する知識を学ぶことができ、そのおかげで数字の大切さを原田さんは知りました。そして一から学んだ創業計画書等の作成も功を奏し、やっと融資の申し込みができる運びとなりました。

起業家向け融資制度を利用するにあたって紹介されたのが、山口県信用保証協会の信用保証制度です。原田さんはそれまで同協会の存在すら知りませんでしたが、保証人や担保を立てる代わりに保証を請け負ってくれるという、なんとありがたい制度かと思ったそうです。

融資を受けるには、融資元の金融機関と、保証人となる信用保証協会双方の審査があります。原田さんが作成した具体的な創業計画書や堅実な収支計画書などが認められ、双方の審査を通過し、融資も決まり、「株式会社はらしん」が無事開業の運びとなりました。

山口県信用保証協会は、やまぐち中小企業・小規模事業者経営支援強化事業を行って

おり、創業計画策定支援を始めとする創業・起業の支援にも力を入れ、経営者と事業継続のために尽力しています。また開業後のフォローとして、中小企業診断士などの専門家を派遣して経営診断や経営相談を行うなど、発展、成長に向けた支援体制も充実させています。今までも多くの創業者や事業継承者が、同協会のサポートを受けています。

**地域の  
御用聞きとして  
必要とされる  
存在に**

お世話になった方へのお中元やお歳暮など、日本の古き良き風習が廃れつつある現在、ギフトとは心と心をつなぐもの、気持ちのやり取りの表れだと原田さんは考えています。都会と違って地方ではまだまだ人とのつながりを大切にしている人が多く、あの人に感謝の気持ちを伝えたい、あの人のために何かしてあげたいと思う人も多くいます。その

心のつながりを目に見える形にするために、原田さんは存在しています。

コロナ禍の影響もあり転換点を迎えているギフト業界は、10年後はどうなっているかわかりませんが、人とのつながりはなくなりません。幸せな生活をするには周りの人とのつながりが必要不可欠だから、地域に根差した「御用聞き」として、心とモノを大事にする人たちの頼りになり、小回りが利く存在であり続けたい。そして「はらしん」を、地域に必要とされる店舗に育てたい。それが今の原田さんの目標です。



勘定科目、貸借対照表、損益計算書の見方がわかるようになり、数字の表す意味と問題点も見えるようになりました。また、1年後には事業が成績表となって出てくるということも話には聞いていたけれど、社長になってそれが実感としてよくわかりました。このように、どんなことでもぐんぐん吸収している素直な原田さんは、社長になって日々成長しているのが、自分でもわかるそうです。

事業継承者でもあり創業者でもある原田さんの活力源は、週1回の定休日に奥様と一緒に食べ歩きをすること。それを糧に、原田さんは今後も益々成長を続け、「企業は人なり」の言葉通り、会社も発展していくことでしょう。



**株式会社はらしん**

所在地 〒745-0013 周南市昭和通2丁目23番地

連絡先 TEL.0834-32-3232 FAX.0834-32-6565

定休日 毎週火曜日

H.P. <http://www.harashin-gift.jp>